

令和2年6月定例県議会の概要について

概 要

「一般質問」での教育委員会関係の主な質疑応答

徳永 達也 議員

◇新型コロナウイルス感染症について ～「教育面の影響と対策について」～

(1) GIGA スクール導入の進捗状況について伺いたい。

(教育長答弁)

国のGIGAスクール構想の目的は、高速通信ネットワーク及び小中学生の1人1台端末等のICT環境を一体的に整備することにより、学校における学習活動の一層の充実を図るものであります。

まず、高速通信ネットワークについては、必要な全ての公立小・中・高等学校及び特別支援学校で、今年度中に整備が完了する見込みであります。

次に、端末につきましては、県立中学校及び特別支援学校小・中学部の約2,000台について、今年度中に調達が見込みです。市町立小中学校では、国の補助により前倒しで導入する約88,000台について、今年度中に調達できるよう、市町において事務が進められているところであります。また、国の地方財政措置を活用する端末整備についても、市町の年次計画のもと適宜、進められる予定です。

なお、国におきましては、需要見込みについて随時情報をメーカーと共有し、自治体に確実に端末を提供できるよう、働きかけていると聞いております。

(2) 次に学校が休業となり学校に登校しての授業ができなくなった場合、どのように児童生徒の学習機会の確保を考えているか伺いたい。

(教育長答弁)

今後、臨時休業となった場合には、小・中学校においては、前回休業時の経験を生かして、教科書を使って自分で学習に取り組むことのできる課題を計画的に課すとともに、分散による登校日の設定、家庭訪問や電話連絡などによる支援を行いながら、学習機会の確保を図っていくことが必要であると考えております。

また、ICTを活用した学習支援についても、家庭のパソコンやスマートフォン等の活用をお願いしたり、学校の端末を貸し出したりするなど、可能な取組から着手するよう、市町教育委員会に働きかけてまいります。

高校においては、基本的に生徒の実態に応じて作成した課題プリントを活用することで学習機会の確保及び学習保障を行ってまいります。さらに、学習効果を上げるためにテレビ会議システム等を活用して、オンライン上で生徒の学習支援ができるよう準備を進めているところです。具体的には、生徒の端末の有無や家庭の通信環境等、各学校の実情に合わせて、学習動画や課題の配信、ビデオ通話を活用した個人の質問への回答やグループでの学習活動等を行ってまいります。

(3) 学校再開にあたり、様々な悩みや不安が生まれることが十分に考えられるが、児童生徒の心のケア等についてはどのように対応しているか伺いたい。

(教育長答弁)

学校における長期休業明けのこの時期は、学習をはじめ、学校生活への不安が生まれ、心の揺れが大きくなることが懸念されます。そのため、学校再開後の早い段階で面談等を実施し、児童生徒の悩みや健康状態の把握に努めるよう、学校等へ通知をしております。

また、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーによる支援につきましても、4月に予算増額補正によって、希望する全ての学校へ追加配置し、教職員と一体となった組織的な対応の強化を進めているところであります。

(4) 現時点で高校では求人の情報をどのように把握して、どのような進路指導を行っているのか伺いたい。

(教育長答弁)

緊急事態宣言の発出により、例年、年度当初に行っている高校からの企業訪問が実施できなかったことに加え、企業側も学校を訪問することができなかったため、校内においてオンラインでの企業説明会を開催したり、企業が作成したビデオを視聴させたりするなど、できることを工夫しながら生徒に情報を提供し、進路について考える機会を作ってまいりました。また、学校では例年以上に個人面談の回数を増やすなど、生徒の不安の払拭にも努めてまいりました。

5月下旬からは、まず県内に限って企業訪問や企業による学校訪問を開始し、進路指導担当教員やキャリアサポートスタッフ等が今年度の採用計画等の情報収集を行っております。

さらに、6月11日に厚生労働省から今年度の高校生の採用選考開始日を9月16日から1か月遅らせるとの発表がありましたので、生徒たちには企業見学会などを通して臨時休業等で十分にできなかった企業研究を行わせたり、選考に向けた手厚い面接指導を行ったりするなど進路実現に努めてまいります。

(5) 高校生に対しても小中学生と同様に1人1台のパソコンを所持させるべきではないか。

(教育長答弁)

これから高校に入学する生徒たちは、小・中学校時代にパソコン等を活用して学習してくることになります。また令和4年度から高校に導入される新しい学習指導要領において、情報活用能力が「学習の基盤として必要な資質・能力である」と位置づけられていることなどから、高校においても1人1台の端末は必要であると考えております。そのため、端末の種類や導入時期、また整備の仕方や活用方法など他県を参考にし、論点を整理しながら検討したいと考えております。